

ほけん通信。

学校 年 月 日発行

目や目の周囲のトラブルの対応

指導 昭和大学 医学部 眼科学講座 主任教授 恩田 秀寿 先生

目に異物や洗剤などが入ったときや、目の周囲に物が当たったときにはどうすればいいのでしょうか？ 目のトラブルには、素早い対応が重要です。そのポイントを確認しましょう。

小さな異物が目に入った場合

とげや木片、プラスチックの破片、小さな昆虫、砂などが、目に入ってしまうことがあります。こうした異物が目に入ったら、水中でまばたきをして出しましょう。



きれいな洗面器に水道水を入れ、顔を水につけて、水の中でまばたきをします。



目をこすると角膜に傷がつくことがあるので、目やまぶたをこすってはいけません。

洗剤などの薬品が目に入った場合

洗剤や漂白剤、カビ取り剤、接着剤、ヘアカラーなどが誤って目に入ってしまった場合は、大量の流水で洗い流します。薬品との接触時間が長いほど悪化するので、すぐに洗いましょう。



水道水などの流水で、10分以上かけて洗い流します。痛くても、目を開けて洗眼します。



清潔なガーゼで目を保護しながら、目に入った薬品を持参して、眼科を受診します。

目の周囲に物が当たった場合

応急手当としては、目の周囲を冷やします。吐き気があれば横を向いて、安静にしましょう。痛みや腫れ、吐き気が続く、見え方がおかしい、目が開かない場合などは、眼科を受診しましょう。



眼球部分を圧迫しないように注意しつつ、ぬらしたタオルなどで冷やします。



吐き気を感じる時や吐いた場合には、喉を詰まらせないように、横を向いて安静にします。

目にボールなどが当たって起こる眼窩壁骨折

ボールなどが目に当たったときに、眼球が入っている頭蓋骨のくぼみ「眼窩」の壁にあたる骨が骨折することがあります。これは「眼窩壁骨折」と呼ばれます。眼窩は、骨折することで眼球に受ける衝撃を逃し、眼球の破裂を防ぐつくりになっています。

眼窩が骨折すると、周囲の脂肪や筋肉が、下に落ちたり、折れた骨に挟まれたりするため、様々な異常が起こります。物が二重に見える、受傷した目が動かない、頬や上唇、前歯のしびれ、吐き気などの症状があるときは、すぐに眼科を受診しましょう。

